

## 自己評価結果公表

## 1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

## 2. 2021年度 重点的に取り組んだ目標・計画

教育理念である「愛されることにより愛を覚える」の実践に向けて、子どもたち一人ひとりが自ら選び活動し満足できるよう環境設定を心掛け、教職員は子ども・保護者・同僚に対しての愛の実践に力を入れる。

年主題： 共に喜んで

～すべての歩みの中で～

- ・ “みたい” “やりたい” “子どものやる気を育て、” “できた！” “ことを共に喜ぶ。
- ・ どんな時でも一人ひとりを知り愛して下さるかみさまを感じる。

## 3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教育充実のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議、保育会議において、各学年のみとりを報告しあうことで、保育者同士が共有することができている。</li> <li>・ 乳児クラス担当教諭が、持ち上がりで年少クラスを担当することで、発達の段階をとらえた環境設定を行うことができた。</li> <li>・ コロナ禍ではあったが、様々な楽器に触れ、本物に出会う機会を設けた。(年8回の音楽コンサート開催)</li> <li>・ 畑の活動を、年間を通してカリキュラムに落とし込み、教会の方に協力を得ながら、育てる・観察・収穫を経験することができた。</li> <li>・ 特別支援が必要な園児に、視覚からの理解ができるよう工夫をしたり、対応する職員が、キンダーカウンセラーの研修を受ける機会を持った。</li> </ul>
保育・教育職員のレベル向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍の中、zoom の研修が増えたが、多くの職員が参加できることは利点である。</li> <li>・ 他園を見学する機会がなかったのは、残念であったので、コロナ終息に向けて、今後も取り組みたい。</li> </ul>
保育・教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年で、自由選択活動に取り組むことができるよう環境設定を行った。</li> <li>・ 各保育室にモンテッソーリ教具を整えることは、人的にも難しい点があるが、今後も徐々に増やすことができるよう準備したい。</li> <li>・ 年長児が、自分で「調べる」ことができるよう、保育者はきっかけ作りを行い、よい学びとなっている。</li> <li>・ マリアンルーム(モンテッソーリ教材・教具)に専任の保育者を配置したことで、活動の内容も充実し、子どもたちが興味を持ってきている。</li> <li>・ 畑で収穫した作物をつかって、食育に取り組んできた。栄養素を知って偏食</li> </ul>

	が少しでも緩和できるような取り組みをしたい。
社会連携・奉仕事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、今年度も様々な活動が中止となった。</li> <li>・子どもの育ちについての共有は、各施設とケース会議を開催して行っている。</li> <li>・畑の活動や、宗教行事では隣接するカトリック教会の方々とかわりを持つことができているが、教会と幼稚園が一つになってできることを今後も考えていきたい。</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>コロナ禍の中、運動不足も顕著に表れる中、八角ジムや平均台を購入し、体幹を鍛える運動遊びを保育の中で取り入れた。行事のスタイルは、人数制限を行いながら、子どもたちの「いま」を大切にできることを積極的に行った。</p> <p>本物に出会い五感で感じることはこの時期の子どもにとっては、とても大切なことである。畑においては収穫だけではなく種まき、土作りなど積極的に取り組むことができた。畑の活動に係ってくださるすべての方に感謝の心も育むことができた。</p> <p>子どもたちの「みたい!」「やりたい!」と思えるやる気を受け止め、満足感や達成感を感じることができるように、保育者は子どもたち主体に保育を実践してきた。まだ、十分ではないが引き続き実践したい。</p>
--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育の充実 職員のスキル アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門リーダーの配置変えを行い、得意な分野において研鑽し、園内においてリーダーシップを発揮していく。</li> <li>・学びに向かう力をつけるために子ども自身が選んで活動できるカリキュラムや環境設定についてそれぞれが研究し、実践していく。</li> </ul>
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの見直しを行う</li> <li>・安全対策リーダーを中心に、さまざまな場面を想定した避難訓練を行う。</li> </ul>
自主自立目指す ための環境設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをよく観察し、自分で選び、一人でできるよう環境を整える</li> <li>・思考の芽生えを促すような、子どもの心に語り掛ける環境を準備する。</li> <li>・畑を作り、五感を使って自然の中から学べる環境を準備する。</li> <li>・本物の音に出会い、身体で音を感じ楽しめ利用にする。</li> </ul>
保護者・ 地域との連携・ 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にも参加していただけるコンサートなどを企画する。</li> <li>・保護者向けのコンサート、講演会などを企画する。</li> <li>・校区の小学校、中学校との連携を深める。</li> <li>・老人ホームなど慰問を引き続き行う</li> </ul>

## ● 2022年度、重点的に取り組む目標・計画

～ つながって ～

- ・神さまとのつながり・・・祈りのこころを育む
- ・人とのつながり・・・あいさつができる子に
- ・環境とのつながり・・・一人ひとりの発達段階にあった、人的・物的環境のなかで育む
- ・世界とのつながり・・・世界のできごとに興味をもち、共感することができる子に

教育理念である「愛されることにより愛を覚える」の実践に向けて、子どもたち一人ひとりが自ら選び活動し満足できるよう環境設定を心掛け、教職員は子ども・保護者・同僚に対しての愛の実践に力を入れる。

## ● 2022年度の評価項目

- ・保育内容の充実 ・教職員のスキルアップ ・危機管理
- ・自主自立を目指すための環境設定 ・保護者、地域との連携、 情報発信

## 6. 学校関係者の評価

### 講評

2021年度も新型コロナによる緊急事態宣言、まん延防止等措置、その何度もの延長を踏まえた各職場における感染予防対策、検査の実施、健康管理など様々な制限、制約は、現場の先生たちに強烈に立ちだかかってしまいましたが、そのような環境下だからこそ、貴園の教育方針は次世代を担う子どもたちにとって欠かすことのできない大切な要素であると考えます。今年度の目標も、子どもたちが多くの体験や挑戦を通じて身につけた自信・達成感などを膨らませ、将来、色々な技能を身につけ、他人への優しい奉仕精神を思う存分発揮してくれれば本当に誇らしいことだと考えます。